

すずか倶楽部 中西 大輔 議員

中学校給食について

(質問) 中学校給食について、相当量の食べ残しがある。①処理方法、コストは。②調理面などでの工夫、学校教育での取り上げ方は。③将来的な中学校給食のあり方を議論してもよいのではないか。④総合計画2023後期計画に食べ残しへの取り組みを記述してはどうか。⑤教員負担を増やすのではなく、学校運営協

議会で生徒を交えて解決の方法を話し合っ
てはどうか。

(答弁) ①食べ残しは包装資材と一緒に処分業者で処理し、平成30年度の処理コストは194万4,000円。②出汁を効かせたり、量の調整の工夫をしている。食育通信の発行や、学校で食に関する教育を行っている。③給食は継続する考え。④総合計画では、単位施策の見直しの中で考える。⑤中学校と食べ残しのデータを共有し、食品ロスの低減に努める。

その他の質問 ○学童保育について

公明党 藤浪 清司 議員

人権尊重の多様性社会について

(質問) 性的少数者に対する本市の現状認識と取り組みについて尋ねる。学校生活における相談、制服やトイレなど性的少数者に対する配慮について尋ねる。「同性パートナーシップ証明制度」導入についての考えを尋ねる。

(答弁) 「性的指向」や「性自認」を理由とした偏見や差別をなくすことが必要と考える。

相談窓口担当職員や小中学校の教職員を対象に研修を行っている。今年度に見直す「鈴鹿市人権擁護に関する施策基本方針」に、性的少数者の問題も取り上げていきたい。児童生徒や保護者からの申し出により、男女を問わず、ズボンや体操服の着用や、職員トイレや多目的トイレの使用を認めている。教育委員会として、学校に対して、安心して相談できる窓口があることを児童生徒へ周知するよう指導していく。パートナーシップ制度は、今後の検討課題としていきたい。

リベラル鈴鹿 森田 英治 議員

すずか文化の創造について

(質問) 鈴鹿市文化振興ビジョンの基本目標である、すずか文化を創造するための3つの重点施策の現状と今後について。

(答弁) 3つの重点施策のうち「音楽のまち」では、市内の学校が出演する「吹奏楽フェスティバル」と合唱や軽音楽など幅広い年代の方が出演する「鈴鹿の街音楽祭」の2つの大

きなイベントを開催している。昨年、吹奏楽はほぼ満席、音楽祭は入場総数が過去最多で、市民に大変好評な事業である。

「鈴鹿の街音楽祭」は、各音楽団体による実行委員会形式で開催しており、「民間の力を活用した文化活動の推進」のモデル的な事業であり、同様の事業が増えていくことも必要であると考えている。2年後から「音楽のまち」の財源である基金が無くなることがほぼ確定しているが、実行委員会と協議を重ね、事業が継続できるよう検討していきたい。

新緑風会 平畑 武 議員

一般会計歳入拡大について

(質問) ふるさと応援寄附金に関して、平成29年度の実績と評価、平成30年度のさらなる拡大策について問う。また、その他の税項目の収入拡大策についての考え方を問う。

(答弁) 平成29年度は、寄附件数が16,262件で寄附額が2億2,134万円を見込んでいる。要因は、シティセールスなどの推進を主眼に政策転換を

図ったこと、申し込みサイトの開設による積極的なPR展開や、多種多様な返礼品の拡大が功を奏した。引き続き、各種企画により地域資源の発信や地域産品の活性化に向けた取り組みで、さらなる拡大につなげていきたい。その他の収入拡大策として、鈴鹿市雇用促進連携協議会を立ち上げ、人口流出抑止施策を実施している。また、3年間で新規投資を8社、約600人の雇用を確保しているが、新名神高速道路開通により、周辺地域に工業団地の造成を地域と共に進めていく。